

学習動画「江戸川・中川・綾瀬川の川と流域のとくちょうを知ろう!」

参考資料

目次

1. はじめに(本資料の目的・位置づけなど).....	2
2. 学習動画「江戸川・中川・綾瀬川の川と流域のとくちょうを知ろう!」の概要.....	3
2.1 動画の概要.....	3
2.2 教科書・副読本において、学習動画を活用できる場面(参考).....	4
3. 学習動画内で使用した言葉の定義・意味・専門用語.....	5
4. 補助知識、関連資料など.....	5
4.1 「中川流域」と「綾瀬川流域」の境界.....	5
4.2 「江戸川流域」と「中川・綾瀬川流域」の境界.....	6
4.3 利根川の源流から江戸川の河口までの流下時間.....	8

学習動画をご使用の際に
参考としてお役立てください



学習動画 (mp4 ファイル) の再生環境等について

- ◇本動画は、一般的なパソコン環境で再生できる「mp4 形式」の動画ファイルです。mp4 形式に対応した再生ソフトがあれば再生可能です。
- ◇おおむね 10 年以内に購入されたパソコンであれば、Windows / macOS / ChromeOS 等、いずれの環境でも特別な設定を行わずに再生できます。(OS やバージョンの制限はありません。)
- ◇再生できない場合は、再生ソフトの変更(例:VLC メディアプレイヤーの使用)をお試しください。

1. はじめに(本資料の目的・位置づけなど)

このたび、国土交通省江戸川河川事務所では、地域(江戸川流域、中川・綾瀬川流域)の小学校における防災教育支援の一環として、児童が地域の河川や水防災に関する理解を深め、主体的に防災について考えるきっかけとなるよう、下表に示す計9本の学習動画(各3分程度)を作成いたしました。これらの学習動画は、小学校4年社会科「自然災害から人々を守る活動」及び5年理科「流れる水の働きと土地の変化」の単元で活用していただけるものとなっております。

本資料では、各学習動画を活用できる場面に加え、学習動画に載せきれなかった内容や、先生方の補助となるような知識・資料などをとりまとめました。ぜひ授業にご活用ください。

令和8年3月 国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所

No.	学習動画タイトル
1	全国でこれまでに起こった主な水害と地いきで起こった大きな水害
2-①	江戸川のなりたちを学ぼう!
2-②	中川・綾瀬川のなりたちを学ぼう!
3	水害からまちを守るヒーロー～首都圏外郭放水路～
4	水をためる!まちを守る身近な取り組みを知ろう!
5	大雨がふると、川やまちはどうなる?～「外水はらん」と「内水はらん」～
6	江戸川・中川・綾瀬川の川と流域のとくちょうを知ろう!
7	流れる水のはたらき(しん食)とその対さく
8	3つの川のチームワークがまちを水害から守る!

【参考】

国土交通省では、児童・生徒向けの「防災学習ポータルサイト」及び教員向けの「防災教育ポータルサイト」にて、理科、社会、総合的な学習の時間等の授業に活用できる素材を掲載しております。これらのサイトには、各教科の学習内容に対応した学習動画をはじめ、児童・生徒が楽しみながら防災行動を学べるカードゲーム、水害等の避難訓練や防災教育を実施する際のポイントを示したガイドブック等を掲載しており、学校や地域における防災教育を支援しております。こちらもぜひご活用ください。

- ◆ 防災学習ポータルサイト(子ども向け) <https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/>
- ◆ 防災教育ポータルサイト(教員向け) <https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/teacher.html>



2. 学習動画「江戸川・中川・綾瀬川の川と流域のとくちょうを知ろう!」の概要

2.1 動画の概要

本動画は、「流域」の考え方を学んだ上で、身近な川である江戸川・中川・綾瀬川の川と流域の特徴(川の位置・長さ、源流の位置、流域の規模等)について学ぶことができる防災学習教材です。

動画では、教科書で十分に扱われていない「流域」の概念を平易な言葉で解説するとともに、地図を用いて流域の位置関係や規模を捉えることで、離れた地域に降った雨も身近な川につながっているという視点を育むことをねらいとしています。また、川の長さについては、源流から河口までの距離を示すとともに、水が流下するのにかかる時間を小学生がイメージしやすいよう身近な尺度に置き換えて解説しています。

こうした学習を通して、離れた地域の降雨と身近な川の洪水との関係について理解を深めることをねらいとしています。

2.2 教科書・副読本において、学習動画を活用できる場面（参考）

参考としてお示しているものであり、活用箇所や使い方を指定するものではありません。

【4年社会科】

■具体例

市町村発行の社会科副読本については、例として三郷市・吉川市のものを挙げさせていただきます。

三郷市教育委員会「ふるさと三郷」（令和7年4月）

P158 おそろしい水害

単元7 自然災害から人々を守る活動

吉川市教育委員会「わたしたちのよしかわ 4年」（令和6年4月）

P46 今までに吉川市で起きた自然災害

単元3 自然災害からくらしを守る

自分たちが住んでいる地域の周辺において、まずどこにどのような川が流れているのかを知るために学習動画をご活用いただけます。また、補助知識として「流域」の考え方を理解することで、たとえ自分たちの住む地域で大雨が降っていなくても、流域のどこかで降った雨が身近な川に集まり、洪水が起こる可能性があることを学ぶことができます。

【5年理科】

■具体例

学校図書「みんなと学ぶ 小学校理科5年」

P99 流れる水のはたらき

単元 川と災害

本単元は、侵食、運搬、堆積等の「流れる水のはたらき」を学習する単元ですが、自分たちの地域の川（背景）について学習する際の補助資料として、学習動画をご活用いただけます。

学校図書「みんなと学ぶ 小学校理科5年」

P120 調べる3

単元 川と災害

自分たちが住んでいる地域における水害について学習する単元ですが、「流域」の考え方にに基づき、たとえ自分たちの住む地域で大雨が降っていなくても、流域のどこかで降った雨が身近な川に集まり、洪水が起こる可能性があることを学ぶことができます。

4.2 「江戸川流域」と「中川・綾瀬川流域」の境界

例として、吉川市、三郷市周辺における「江戸川流域」と「中川・綾瀬川流域」の境界については、図2～図4に示すようになっており、基本的には「江戸川」が流域の境界となっています。

ただし、4.1にも示した通り、中川・綾瀬川流域のような低平地では、「自然地形に依存した流域界」となっていないことがあります。そのため、「江戸川流域」と「中川・綾瀬川流域」の境界について、より正確な情報の整理を希望する場合には、各自治体等への問合せが必要となります。

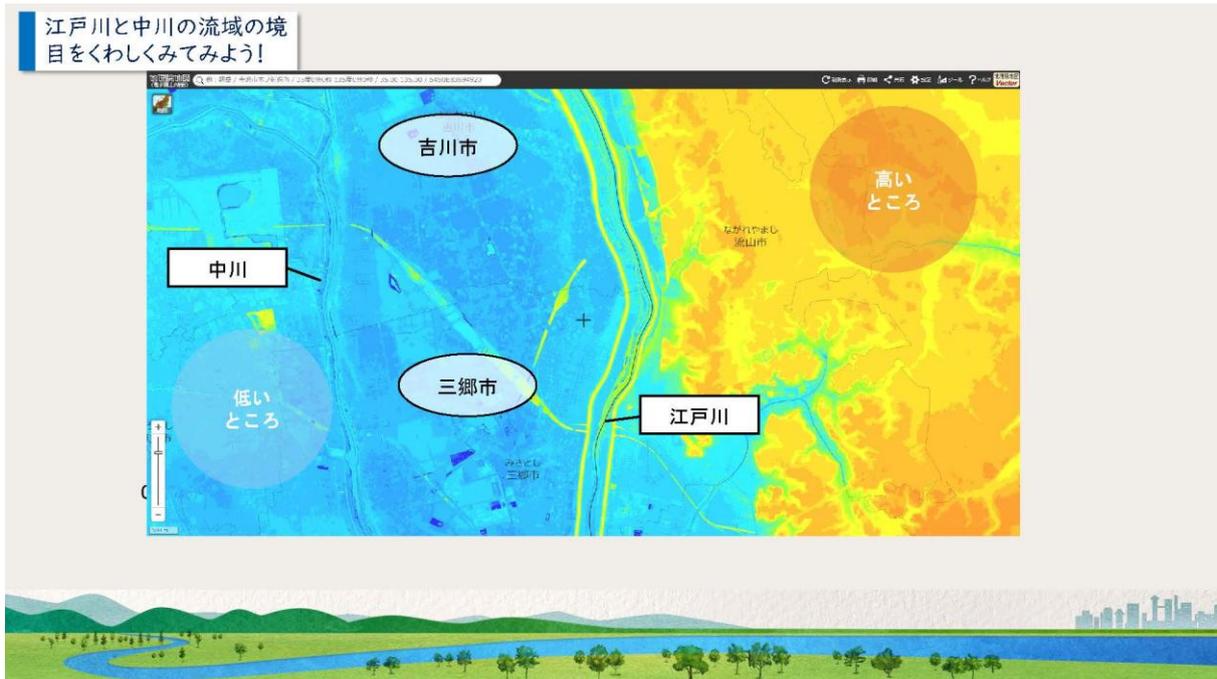


図2：江戸川流域と中川・綾瀬川流域の境界(1)

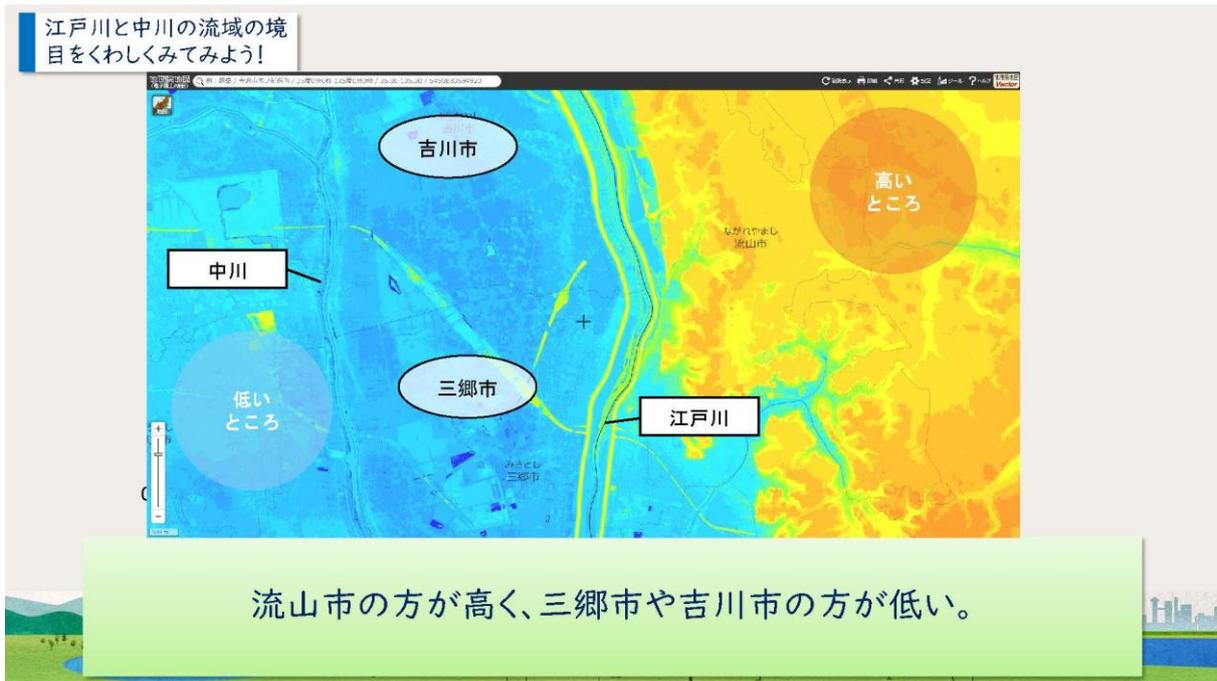


図 3: 江戸川流域と中川・綾瀬川流域の境界 (2)

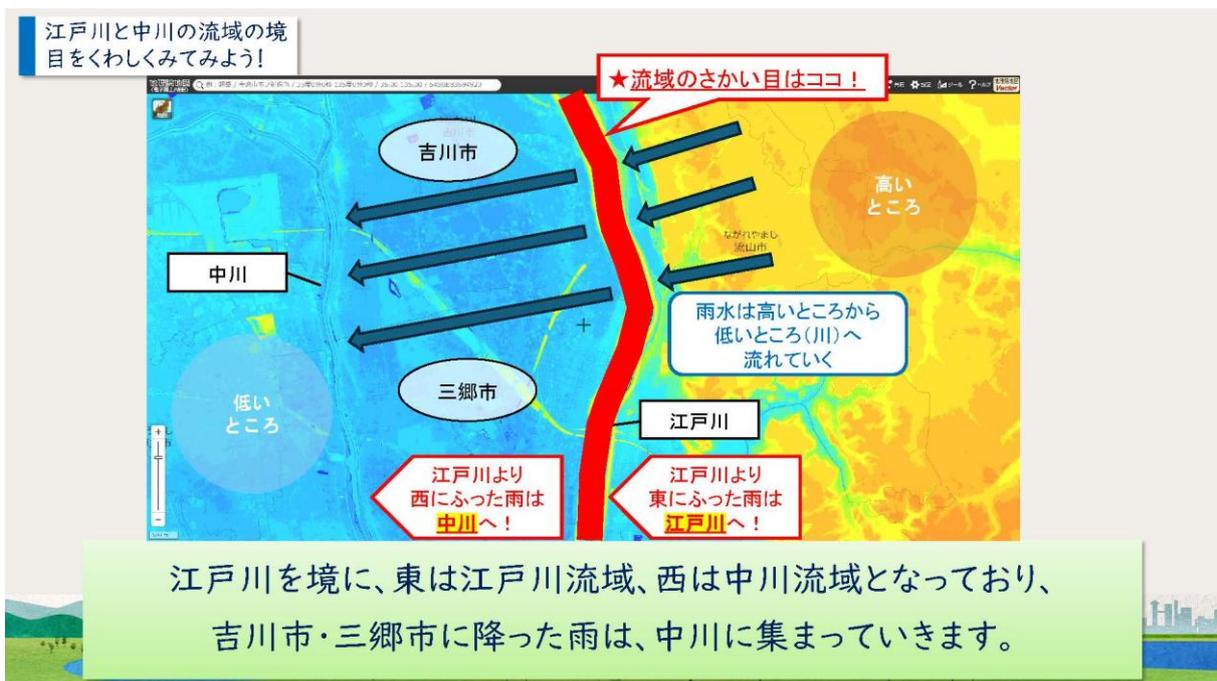


図 4: 江戸川流域と中川・綾瀬川流域の境界 (3)

4.3 利根川の源流から江戸川の河口までの流下時間

利根川の源流から江戸川の河口までの距離は約 260 km、流速は平均すると時速 3 km程度であるため、流下時間は 3.6 日程度となります。

動画では、この「時速 3 km」という数値を、流速と同程度である小学生の歩く速さ（時速約 3 km）に置き換え、「歩いて3日～4日かかる距離」として例えています。

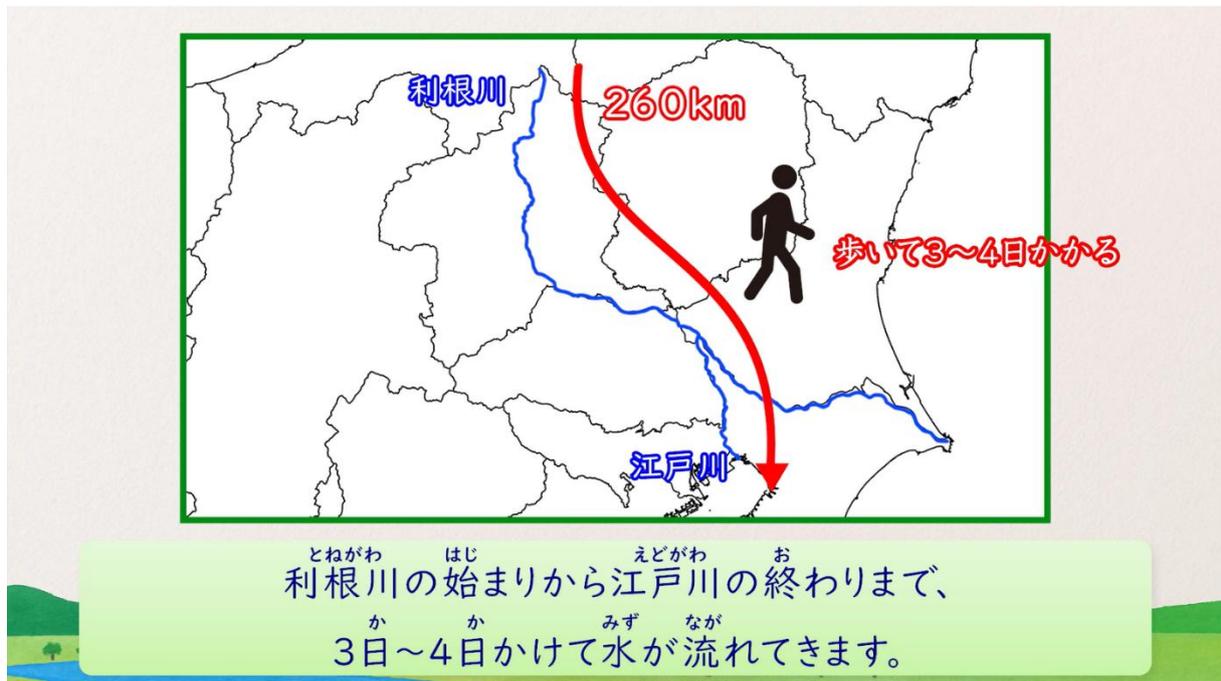


図 5：利根川の源流から江戸川の河口までの流下時間